

足立区立湊江小学校
校長 向山 敦子 様

足立区立湊江小学校開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

令和元年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

湊江小の現状を分析し、目標実現に向けた取り組みが細かく示され、教職員が一丸となって、児童の学力向上・健康な心身の育成のために取り組んでいる姿勢は大いに評価できる。日々の取り組みの積み重ねは確実に成果として表れ、児童の学習意欲や自己肯定感、心の成長につながっている。また、研究授業や研修も充実しており、教員の授業力の向上になっている。

目標が達成できなかった項目については改善点を明確にしているので今後に期待したい。

「笑顔あふれる湊江小」の目標のもと、協議会としても引き続き「湊江の子供たちのために」学校、保護者と連携・協力していきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

学校全体でパワーアップタイムなど基礎基本の定着に向けた取り組みがなされている。基礎的な内容の定着が不十分な児童に対しては「放課後けやき教室」や「サマースクール」など個に対する指導も行っている。「できる」といった自己肯定感が学力向上にもつながっている。さらには学習習慣の確立のため、家庭での働きかけや家庭学習の重要性を保護者に向け今後も地道に発信していただきたい。

また、地域や国際理解教育、湊江小の特色でもある伝統文化などの体験活動は児童の心の幅をひろげ、豊かな人間性や主体性を育てている。中でも「地域の中の湊江小学校」として地域の協力で体験活動が行われていることは児童が地域を知り、地域から学ぶ良い機会であると感じる。

【健康な心身の育成】

挨拶の励行については、朝の挨拶運動などを通して学校全体で取り組んでいるが、来校者への挨拶などまだ不十分なところがみられる。挨拶はあたたかな人間関係の始まりである。学校で引き続き指導していただくとともに、保護者、地域の協力も必要だと感じる。

いじめ根絶・不登校の解消の取り組みは委員会の活性化、各所との連携、道徳授業、校長先生の講話などを通じて非常に良い結果となっている。今後も日々、「自他ともに尊重する態度」「あたたかな人間関係」を育てる指導を続けていただきたい。

【家庭・地域との連携】

学校は幼稚園・保育園との交流やPTA・地域・協議会の行事などに参加協力し、地域は学習ボランティアや放課後子ども教室、児童の体験活動の協力など各方面で連携を図っている。しかし、学校・家庭・地域の連携についてのアンケートで肯定的評価が少しではあるが目標に届かなかったことは残念である。

また、学力向上や健康な心身の育成のためには家庭との連携は重要である。家庭には自ら学習することを習慣づける「家庭学習」や挨拶をはじめ言葉遣いなどを含む「生活習慣の取り組み」などの大切さを認識して協力してほしい。

変化の多い社会情勢の中、児童の健やかな成長のため、今後とも学校・家庭・地域をつなぐ情報発信をしていただきたい。

3. その他

日頃より、児童に「当たり前のことを当たり前にする」ことを掲げ、高学年がお手本を示すことで、自然と社会性が身に付いていっていると感じた。

校内が清潔で掲示物の乱れもなくきちんとした印象を受ける。ランチルームの開設や花いっぱい運動など校内環境の整備は児童の情操教育にもつながり、学習成果にも良い結果をもたらすと感じる。協議会としても協力していきたい。